

今週は6年生が行った「Kumamoto 幸福論」の特集です。子どもたちのもつ可能性の大きさに驚きました。

Kumamoto 幸福論

6年生は清水地域をさらによくしようと「Kumamoto 幸福論」と名づけられた学習を続け、20日（木）に最後の大きな活動を行いました。これまでの歩みは

- ①まずは子どもたちが地域を歩きながら清水地域の良さと課題を見つけて回りました。
- ②そして、「どんな点（場所）を？」「どのようにしたいか？」「そのためにはどんな準備や活動が必要か？」を話し合いました。子どもたちはいろんなことに気づき、アイデアがどんどん出されました。それをプレゼンで提案し、活動内容を決めました。「道路」「環境」「交流」の3つのテーマで活動することになりました。
- ③しかし、「どうしたら解決できるかわからない」「許可や予算が必要」などの壁にあたりました。子どもたちは自分たちのテーマに合わせていろいろ調べ、いろんなところに相談しました、そして、自治会、まちづくり委員会、北部土木センター、国土交通省道路維持課、坪井川遊水池の会、清水校区のお店などから協力をもらい、許可や活動資金を得ることができました。
- ④最初の活動予定日は極寒で延期となりましたが、20日、午前中いっぱいを使って最後の活動をしました。どの班も主体的にがんばり、自分たち子どもでもこんなことができるんだということを証明してくれました。

道路

「トンネルを明るい雰囲気にして、みんなが安心して通れるようにしたい。」と、3号線下のトンネルに絵を描きました。

4つのテーマを決めて、ペンキで絵を描きました。著名な似顔絵作家のJEROさん（一番上の写真）にもアドバイスをもらいました。最初は大きな絵やペンキに戸惑った子どもたちも少しずつ慣れて、楽しみながら素晴らしい作品を仕上げました。この様子は熊日新聞(2/24)にも掲載されました。



環境

「清水校区の環境をよくしたい。」と、3つの活動をしました。

- ①「きれいで憩いの場となる公園に。」松崎公園に行ってゴミ拾いなどの清掃活動をしました。
- ②「花いっぱい地域に。」プランターに花を植えて各公民館に配りました。
- ③「桜の開花に合わせて、人々の心を温かく。」坪井川遊水池の桜に自分の夢や希望を書いたプレート掲げました。遊水池の会の方々と交流しました。



交流

「地域のお店を活性化させ、人が集まる地域にしたい。」と、お店を訪問してインタビューし、そのお店の特徴やよさをみんなに知らせようと活動しました。

インタビューをもとに記事を書いたり、写真を載せたりして紹介ポスターをまとめました。お店の人の思いを知り、たくさんの人に訪れてほしいなあとすばらしいポスターを完成させました。ポスターはお店に掲示してもらいます。



個人情報保護のため、写真は鮮明度を落としています